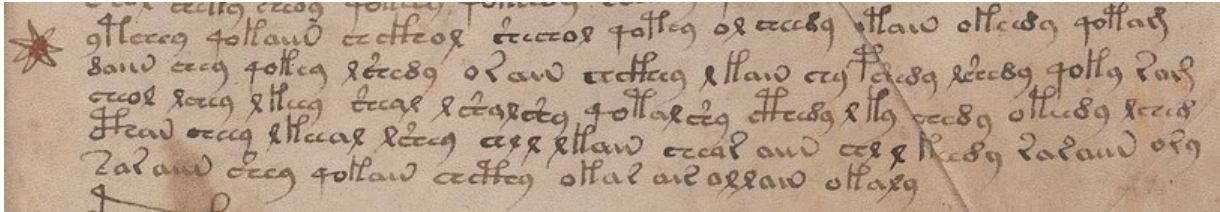


本「手稿」の103r ページから、この116r ページまでの、24 ページは古代の各国や各地域の紹介でした。そして最後に簡単に紹介されているのは、九州の奴国などです。当時アラブと九州・日本の繋がりは深かったようです。

紐のない星印は中央が褐色になっていますので、恐らくはアラブ系の国のようですが。



bfaatb nadaqand aaqadaum bataadaum nadaftb daumaattsb dafaid daqttsb nadafazi
新しい国の**奴連合**は家が離れ、多くの所有家は豊かで無い国になった。
ダウムアアツツ国は豊かな援助をしたがダクツツ国は豊かにはなれなかった。

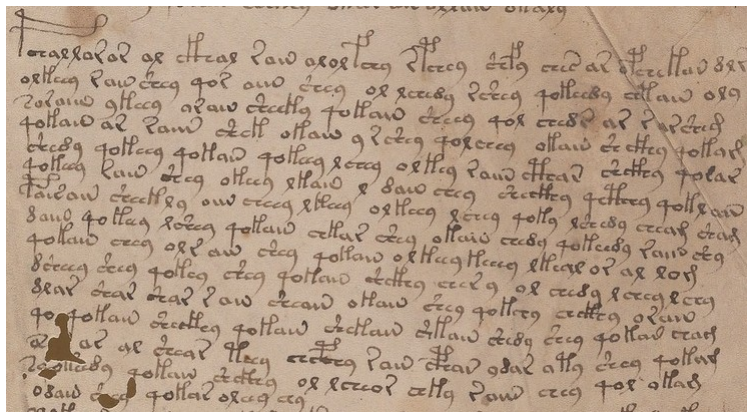
sand aatb nadaqtb umbatsb daraid aaqatb umqaid aab pbatsb umbatsb nadaqb razi
国土に人が増え未自立の**ウムバツト国**には土地の恵みがあった。国を離れたが様々な
小さな助けが全てで、プバツト国は**ウムバツト国**を支配せず周りにいる事が可能だった。

aatdaum umaatb umqttb bataum umbataumbab nadafaumbab fatsb umqb aatsb dafttsb umaats
家が増え色々な人を加え、様々な小さな国には多くの希望があり、
様々な希望に沿った領土や豊かで無い希望の領土だった。
フアト国は様々な地域で、アアト国・ダフツツ国は様々な集まりを加えた。

faad aatb umqttaum umbatb aaumumumqaid aatar and aaum um qttsb rarand darb
引き離して追加した国には様々な小さな希望があり、様々なに変化した。
それぞれ色々前向きに土地を追加し、それぞれウムクツツ国の周りを囲むように置いた。

karand batb nadaqaid aafab daqar aid daumumaid daqaumb
後の事ではあるが変化し、自助が無く合流し、自立地の場所の家の色々な助けで
自立希望の人となった。

つぎは「手稿」本文としては最後と思われる部分です。
古代九州歴史の纏めでしょうか。少し長文です。穴開きの部分は下線部です。



paaaum umdarar aum qaaum raid aumdaumqaab rpaatb baqb aatk ar dapaat qad sumr
交易の希望は様々で農地が次々だが、希望は水の希望でもあった。周りの助けが希望で家は
元気になった。周りの交易国はほぼ地方で、時間を掛けた土地は、多くは無い少しの指導で
結果は周りにあった。

daumqttb raid batb nadak and batb daum umaatsb rbatb nadaqtsb aafaid aumb
家の小さな国は周りの助けで変化した。強く無いが変化した家はウムアアト国で、
周りが変化したナダクツツ国は合流の助けで国民ができた。

kdarand bqttb araid battqb nadaqaid battb nadaum aatsk ar r ar batz
後の農地であるが古くない国は地の利で幾らかの地域ができた。
自助が無い多くの国は家が無くても、結果として土地の周りの土地を豊かにした。

nadaqaid ar rand batq daqaid b r batb nadaumaatb daqaid baqab nadaqazi
自助の無い土地は囲みが悪く、自助の人の周りが変化し、家の無い人を追加した。
自助の指導者は不自立も可能だった

batsb nadaqttb nadaqaid nadaqttb umaatb daumqtb kand faar baqab nadataar
バツト国は統治の無い国で自助が無かった。統治の無い国は様々な人を加え、家が小さい国
を囲んだ。遠い土地は指導者の期間が短い土地であった。

nadaqttb rand batb daqttb umqaid um said aatb batqab nafaab nadaqumaid
不統治国は周りの世話で変化し、統治国はあっさりした世話だった。様々な長老は人を
増やし、悪い地震では遠くない全てを、自立にかかわらず助けた。

paikaid battqumb dand aattb umqttb daumqttb umaatb nadaqb umbatsb aatazi baazi
纏まった助けは多くない小さな変化で、悪い国を加えた様々な小国は家の小さな国で様々に
人を加えても支配しなかった。ウムバット国は加わる事も可能だし、側も可能だった。

sand nadaqttb umbatb nadaqaid aaqar batb daqaid aatsb nadaqaasb rand bab
国土に統治の無い国は様々に変化し、自助の無い活発な土地は変化した。
自助でアアト国やナダクツツ国は囲んだ勢力だった。

nadaqaid aatb daumraid batb nadaqaid daumqttb qttb umqtaum dar aum umdazi
自助が無く人が増え家の周りの世話は変化した。自助の無い家は小さな国で、
小さく無い国は色々な小さな希望があり、農地の希望は色々な仕事だった。

sbattb batb nadaqtb batb nadaqaid baqab aatrb daum aatsb umaatb umaab
成長できなかつた国も変化し、不自立国も変化した。自助の無い指導者が周りの人を加え、
家をアアト国とし。色々な人を加え色々全てだった。

sumar baar baar r aid bataid daqaid batb nadaqaab aaqab daraid
合計の土地は広範であり、広範な周りの手当や多くの助けで自助に変化した。
自立的で無く離れた人には土地の恵みがあった。

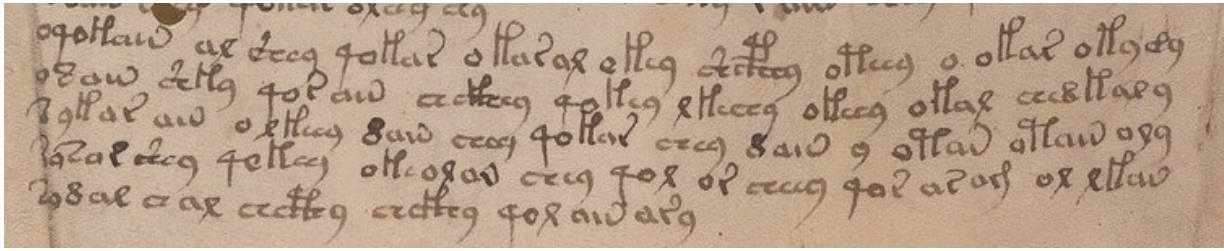
nada nadaqaid batqab nadaqaid batqaid baqaid batsb batb nadaqaid aaazi
小さく無く自助が無いが、多くの地震で自助がなくなった。多くの小さな支援は小さな
支援のままでバツト国は変化し、無自助で幾らか可能だった。

***ar aum batar fttb aapaaab raid paad bsar bfb batb nadaqazi
***土地の希望は多くの土地で、足元の国は始まったばかりであった。周りの支援や
他の助言で決まった土地が成長し変化し、無自立も可能だった。

kbdafttsb nadaqaid baqab daum umaatdar aaqb rand aatb nadaum bqazi
維持したダクツツ国は自助が無いが指導者の家は様々な農地を加えた。
活発な人は囲んで人を増やし、家が無くても自立可能だった。

dasaid batb nadaqar daumttb aab
助け合いが変化し未自立地の家は次々と幾らかの人だけになった。

さて、手稿本文最後のページの最後に追加された様な部分です。
103r ページからの長い長い国別紹介は、彼らの置かれた立場で締め括られます。



danadaqaaid aum bath nadaqr daqakaum daqtb bapaaab dafttb da daqar dafbsb
小さな自助もなく希望は変化した。未自立地は自立地が希望で、自立国は交易が全てで、
貧しい国で小さな自立地はダクブ国だった。

dasaid baqb nadaraid aaqatb nadaqtb umqtaab daqttb daqaum aatsqatab
助け合いは地域毎であった。農地の無い援助では国を離れ、未自立国は様々な
小さなことが全てで、支配国は自立希望をまとめた小さな希望の人々だった。

kbqar aid daumqttb said aadab nadaqar aatb said b dafad dafaid daumb
維持した少地を手入れし、家の小さな国は元の人を加え、未自立地は人を増やし、
元の人には豊かな助言と、豊かな助けで家の人々とした。

kbkdar bath nadaqtb daqtdaumad aatb nadaum dar aattb nadar araazi daum umqad
維持し完全に変化した未自立国は支配家に助言した。人が増えて家が無くても
農地に国を作り、農地が無くても土地は可能で、家は色々小さな助言をした。

kbsaum aaum aafab aaqab nadaum aid arb
維持し集めた希望を、手の裏に記録した。「家が無くても助け合うアラブ」。

最後の一文は

「維持し集めた希望で手を繋いだり離したりして、家が無くても助け合いは生まれる。」
とも解読できます。

「手稿」本文はここで終了しています。
文章が途中で終わっているようにも見えます。
記載者の「怒り」や「主張」にも見えます。
この最後の一文の為に、長い長い200ページ以上の
文章があったのでしょうか。